

第1686号

2023年
9月15日

定価1部300円
定期購読
半年 5400円
1年 10000円
振替番号
00140-5-95121

労働新聞

http://japanlabor.party/ shinbun@japanlabor.party

日本労働党中央委員会機関紙

発行所 労働新聞社
編集発行人 高橋信

本社 〒102-0072
東京都千代田区飯田橋4-1-5 ポザール飯田橋2階
電話 03-3265-6506 / FAX 03-3265-6507

北海道支社
〒001-0033
札幌市北区北33条
西6-1-10-206
電話 011-558-4441

関西支社
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-8
-29チサン第3新大阪501
電話 06-6586-9920

九州支社
〒812-0042
福岡市博多区豊1-3-8-302
電話 092-483-1344



そごう・西武労組のストライキを断固支持する

「労働者の当然の権利」の世論広げよう

そごう・西武労組が8月31日、そごう・西武百貨店の売却をめぐるストライキを行ったことは、他の労働組合や多くの未組織の働く仲間だけでなく青年・学生をはじめとする各社会層に大きな反響を呼んだ。旧サービス・流通連合の各百貨店労組の仲間たちもストライキ支援・連帯行動に参加するなど、そごう・西武労組の闘いを孤立させない連帯の動きが広がったことも重要である。わが党は、改めて今回のストライキを断固支持する。

親会社のセブン&アイ・ホールディングスは労働者の切実な声を無視して一方的に投資ファンドへの売却を強行した。当該労組は今後新たな親会社となった投資ファンドとの交渉が不調に終わった場合もストライキを検討するとして、労働者の職場、生活を守る立場から当然のことである。

大衆の支持・期待を実感 スト現場を訪れて 埼玉県・渡辺 和雄

朝10時の開館時間を過ぎて、店舗の全てのシャッターは下りたままだ。「よし、ストライキ突入だ!」。同じ小売業労働者として、驚きとうれしさに思わず声を上げた。大

手百貨店のストライキは、実に61年ぶりだという。池袋駅東口の核商業施設である西武池袋本店は、周辺の人びとや西武線沿線の利用者にとって、常日頃から何かと利用する機会が多く、「池袋西武」「池西」と親しみをもって呼んでいる。

投稿

通信

8月31日の午前中、親会社であるセブン&アイ・ホールディングス(HD)は、「そごう・西武」の株式譲渡売却を決議するために臨時取締役会を開催することを決定した。これに異議を唱えた「全館臨時閉店」が大半で、見物人も大勢いて、店舗前はこった返していた。店舗シャッターに張られた「全館臨時閉店」の掲示を、スマホで撮影する人であふれていた。

(8面に続く)